

狭山市史	原始古代資料編	目次	
第一章	狭山市の自然		
第一節	はじめに	-----	3
第二節	気象	-----	5
第三節	狭山市の地形	-----	6
第四節	狭山市の地質	-----	23
	地表地質	23	
	仏子層	豊岡礫層・多摩ローム層	下末吉ローム層・下末吉層
	武蔵野ローム層・武蔵野礫層	立川ローム層・立川礫層	
	地下地質	36	
	水井戸ボーリング資料	市史編さん実施のボーリングについて	
	建築物建造のためのボーリング資料		
第五節	狭山市のおいたち	-----	42
	仏子層堆積期	42	
	豊岡礫層・多摩ローム層堆積期	42	
	下末吉層・同ローム層堆積期	42	
	武蔵野礫層・同ローム層堆積期	43	
	立川礫層・同ローム層堆積期	44	
第六節	遺跡胚胎層について	-----	45
第二章	狭山市の原始・古代の概観		
第一節	研究略史	-----	51
第二節	狭山市の遺跡について	-----	72
	旧石器時代	73	
	縄文時代	73	
	弥生時代	75	
	古墳時代	76	
	奈良・平安時代	76	
第三章	狭山市の遺跡		
第一節	入間川左岸付近の遺跡	-----	81
	八木前遺跡	82	
	東八木窯跡群	82	
	八木遺跡	84	
	八木北遺跡	84	
	八木上遺跡	88	
	沢口上古墳	89	
	笹井古墳群	90	
	沢口遺跡	94	
	宮地遺跡	95	
	金井遺跡	246	
	金井上遺跡	246	
	上広瀬上ノ原遺跡	247	
	霞ヶ丘遺跡	255	
	今宿遺跡	255	
	上広瀬古墳群	338	
	森ノ上西遺跡	340	
	森ノ上遺跡	340	
	富士塚遺跡	342	
	鳥ノ上遺跡	343	
	小山ノ上遺跡	344	
	御所の内遺跡	346	
	英遺跡	347	
	城ノ越遺跡	347	
	宮ノ越遺跡	377	
	字尻遺跡	498	
	上双木遺跡	498	
	上広瀬西久保遺跡	499	
	東久保遺跡	500	
	西久保遺跡	501	
第二節	智光山公園付近の遺跡	-----	503
	丸山遺跡	503	
	金井林遺跡	505	
	鶴田遺跡	505	
	上の原東遺跡	506	
	上の原西遺跡	506	
	半貫山遺跡	506	
	稲荷山遺跡	507	
	前山遺跡	508	
	高根遺跡	508	
	町久保遺跡	509	
	宮原遺跡	510	
	下双木遺跡	512	
第三節	入間川右岸付近の遺跡	-----	514
	上諏訪遺跡	514	
	滝祇園遺跡	515	

峰遺跡	522	
戸張遺跡	522	
揚樫木遺跡	523	
坂上遺跡	690	
稻荷上遺跡	690	
稻荷山公園古墳群	696	
稻荷山公園遺跡	698	
石無坂遺跡	698	
第四節 久保川流域付近の遺跡	-----	699
上中原遺跡	699	
中原遺跡	700	
沢台遺跡	701	
沢久保遺跡	702	
下向沢遺跡	702	
吉原遺跡	707	
下向遺跡	707	
台遺跡	707	
富士見西遺跡	708	
富士見北遺跡	708	
富士見南遺跡	709	
第五節 不老川流域付近の遺跡	-----	710
町屋道遺跡	710	
七曲井	712	
堀兼之井	722	
八軒家の井	723	
第四章 文献資料		
凡例	-----	727
綱文目次	-----	729
資料	-----	733
1 武蔵に无邪志・胸刺・知々夫の三国造が置かれる	-----	733
2 辛亥年、ヲワケが鉄剣に一一五字の銘文を残す	-----	733
3 安閑天皇元年（五三四）閏十二月、武蔵国造笠原直使主が同族小杵と国造の地位を争う	-----	741
4 舒明天皇五年（六三三）、物部連兄麿が武蔵国造になる	-----	742
5 大化元年（六四五）八月五日、大化の改新がおこなわれ、東国等の国司を任命し田畝を校し戸籍を作らせる	-----	742
6 天智天皇五年（六六六）十月二十六日、高句麗が玄武若光を遣わして朝廷に調を献進する	-----	743
7 天智天皇五年（六六六）、百済の男女二〇〇〇余人を東国に遷す	-----	743
8 持統天皇元年（六八七）四月十日、新羅の僧尼および百姓二人を武蔵国に配置する	-----	743
9 大宝三年（七〇三）四月四日、高麗若光が王姓を賜る	-----	744
10 大宝三年（七〇三）七月五日、引田朝臣祖父が武蔵守に任ぜられる	-----	744
11 和銅元年（七〇八）正月十一日、秩父郡より和銅を献上する	-----	744
12 和銅六年（七一三）五月十一日、武蔵国などの調布を絶と布の二種に改め、同七年正月二十五日より実施する	-----	745
13 霊亀二年（七一六）五月十六日、駿河等七国の高麗人一七九九人を武蔵に遷し、高麗郡を置く	-----	745
14 天平十六年（七四四）、このころ『万葉集』（巻一四）に東歌の一部として、武蔵国の歌九首が収められる	-----	746
15 天平十九年（七四七）六月七日、背奈公福信ら八人が背奈王の姓を賜る	-----	748
16 天平十九年（七四七）十一月七日、聖武天皇が諸国に国分寺・国分尼寺の建立を促す	-----	748
17 天平勝宝二年（七五〇）正月二十七日、背奈福信ら六人が高麗朝臣の姓を賜る	-----	749
18 天平勝宝七年（七五五）二月二十日、武蔵掾防人部領使安曇宿祢三国が、武蔵の防人の歌二〇首を献進する	-----	749
19 天平宝字元年（七五七）閏八月二十七日、坂東諸国発遣の防人を停止し西国兵士に替える	-----	753
20 天平宝字二年（七五八）八月二十四日、新羅から渡来した僧俗七四人を武蔵の閑地に遷し、新羅郡を置く	-----	754
21 天平宝字三年（七五九）九月二十七日、坂東八国等の浮浪人二〇〇〇人を雄勝の柵戸として移し、武蔵等七国から送った武器を雄勝・桃生の二城に貯える	-----	754
22 天平宝字四年（七六〇）四月二十八日、新羅からの渡来人一三一人を武蔵国に置く	-----	754
23 天平宝字五年（七六一）十月一日、高麗大山が武蔵介に任ぜられる	-----	755
24 天平宝字八年（七六四）九月十九日以降、入間郡の豪族物部広成が登場する	-----	755
25 天平宝字八年（七六四）十月七日以降、足立郡の豪族丈部直不破麻呂が登場する	-----	758
26 神護景雲二年（七六八）三月一日、武蔵国乗瀦・豊嶋の二駅に中路に準じて馬一〇疋を置く。また宝亀二年（七七二）十月二十七日、武蔵国が東山道から東海道に所属替えになる	-----	760
27 神護景雲四年（七七〇）八月二十八日、高麗福信が武蔵守を兼任させられる	-----	760
28 宝亀三年（七七二）十二月十九日、入間郡の出雲伊波比神社の崇りにより郡の正倉と糶穀を焼いた事件（神護景雲三年九月十七日）に関し、太政官がこれまでどおり同社へ班幣するよう神祇官に伝える。また同四年二月十四日、神火による正倉と糶穀焼失の罪により入間郡司が解任される	-----	761
29 宝亀八年（七七七）六月五日、入間郡の大伴部赤男が西大寺に商布などを献進した功績により、外従五位下の位階を追贈される	-----	762
30 宝亀十年（七七九）三月十七日、高麗福信が高倉朝臣の姓を賜る	-----	762
31 延暦十一年（七九二）六月十四日、武蔵国に一〇五人の健児が置かれる	-----	763
32 弘仁九年（八一八）七月、武蔵等六ヶ国に地震が起こり多数の百姓が圧死する	-----	763
33 天長六年（八二九）十二月二十七日以降、武蔵国の閑地に勅旨田が設置される	-----	764
34 天長十年（八三三）五月十一日、多摩・入間二郡の境に悲田処を置く	-----	764

35	嘉祥三年（八五〇）六月三日、武蔵国の広瀬神が官社に列せられる	765
36	貞観三年（八六一）十一月十六日、武蔵国の各郡に検非違使一人を置く	765
37	貞観九年（八六七）八月二十日、天皇が武蔵国の貢馬を天覧する	766
38	貞観十四年（八七二）三月九日、貞観寺作成の田地目録帳に武蔵国に関する記載がみられる	766
39	元慶七年（八八三）六月二十二日、武蔵国の飢饉に対し正税六万束をもって救済する	767
40	九世紀末、女流歌人伊勢により「ほりかねの井」の歌が詠まれる。以下「ほりかねの井」に関する和歌・随筆を載せる	768
41	延喜九年（九〇九）十月一日、武蔵国の立野牧が勅旨牧となる	769
42	延喜十四年（九一四）八月八日、朝廷が定めた雑事五ヶ条の中に武蔵国に関する記述がみえる	770
43	延喜十四年（九一四）八月十五日、朝廷が定めた厨家の勤行すべき雑事五ヶ条の中に、武蔵国に関する記述がみえる	773
44	延長五年（九二七）十二月二十六日、『延喜式』が編さんされ、この中に武蔵国に関する記述がみえる	774
45	承平五年（九三五）二月二日、平将門が常陸大掾平国香および源護と戦い国香を殺害する。承平・天慶の乱が始まる	782
46	承平年間（九三一～九三七）、『和名類聚抄』が編さんされ、この中に武蔵国の郡郷に関する記載がみえる	785
47	一一世紀後半、前九年の役を記した『陸奥話記』が成立する	787
48	天永四年（一一一三）三月四日、武蔵国の横山党が内記太郎を殺害したために追討の宣旨がおりる	788
49	保元元年（一一五六）七月十日、保元の乱が起こる	789
50	平治元年（一一五九）十二月、平治の乱が起こる	792
	用語解説	797
	狭山市史編さん関係者名簿	
	あとがき	

狭山市史原始 古代資料編付図

狭山市遺跡分布図

宮地遺跡第二次・第四次発掘調査全測図（1/400）

今宿遺跡発掘調査全測図（1/600）

城ノ越遺跡第一次発掘調査全測図（1/200） 宮ノ越遺跡発掘調査全測図（1/1000）

揚櫃木遺跡第一次発掘調査全測図（1/400）